

2022年7月15日

前田建設工業株式会社

三浦市公共下水道（東部処理区） 運営事業における優先交渉権者の公表について

本日、前田建設工業を代表企業とするグループは、三浦市が進めている「三浦市公共下水道（東部処理区） 運営事業」に係る公募手続において、優先交渉権者として選定されました。本事業は、民間事業者の経営ノウハウや先進技術、創意工夫により、民間事業者の経営視点を取り込んだ中長期的な投資戦略の改善、収支バランスの取れた下水道事業の実施と持続可能性の向上、三浦市の魅力向上に資する下水道事業等の潜在的な価値の創出を達成する事を目的としています。

本事業は、一処理区の処理場、ポンプ場、管路の全てについての維持管理から更新までを含む国内初のスキームです。当グループは、構成企業各社の強みと総合力を活かすことで、コンセッション方式による効率的かつ効果的な下水道事業の運営を実現すべく提案しました。なお、総合インフラサービス企業を目指す前田建設工業が運営に携わるコンセッション事業は本事業で6件目となります。

今後、三浦市との基本協定の締結準備を進めていく予定です。具体的な事業内容等につきましては、三浦市との協議を踏まえ適宜公表して参ります。

記

事業概要	◇対象施設：処理場（東部浄化センター） ポンプ場（金田中継センター） 管路施設（幹線管きよ、枝線管きよ、マンホールポンプ、マンホール（マンホール蓋を含む）、公共汚水ます、取付管） ◇事業期間：2023年4月～2043年3月まで（20年間） ◇事業の範囲： Ⅰ．主たる事業：①経営に関する業務 ②各種計画支援に関する業務 ③対象施設の改築・維持管理・増築に係る企画、調整、実施に関する業務（増築は管路施設のみ） Ⅱ．附帯提案事業：既存の処理工程に捉われない新たな処理工程の導入等 Ⅲ．任意事業：運営権者等が自らの負担で行う独立採算の事業
コンソーシアム 構成企業と本事業における強み	前田建設工業(株)：豊富なコンセッション実績を基礎としたインフラ事業経営ノウハウ 東芝インフラシステムズ(株)：国内外における多数の監視制御システム導入実績 (株)クボタ：豊富な水環境ソリューションに関するノウハウ 日本水工設計(株)：多数の事業計画実績及び事業体への台帳システム納入実績 (株)ウォーターエージェンシー：自社開発の『水再清ロボット®』導入による運転管理の効率化

本件に関する報道機関からのお問合せ先

前田建設工業株式会社

経営革新本部

広報部

E-Mail：[maeda-release@jcity.maeda.co.jp](mailto:maeda-release@jcity.maeda.co.jp)

以上